



2024年度第5回理事会議事録

公益社団法人 静岡県栄養士会

開催日時：2024年10月6日（日）13:00～17:30

開催場所：静岡県栄養士会事務局およびWEB

出席役員

○出席 ×欠席 ○W WEB出席

職域事業部	会長	副会長	副会長	学校		公衛		研究		フ栄			
氏名	新井	久保田	若林	小栗	大塚	平塚	稲葉	篠原	小川	池谷	森下	白石	青島
出席	○	○W	○	○	○	○	○	○	○W	○	○W	○	○
職域事業部	フ栄			医療						福祉			
氏名	栗原	山崎	杉山清	太田	渡邊美	渡邊潤	中村	菊地	八木	田森	杉山智	松井	
出席	○	○	○W	○W	○	○W	○W	×	×	○	○	○	
監事	水嶋	鈴木											
出席	○	×											

開 会

定刻に至ったため、久保田副会長が出席理事を確認、出席者が過半数（うちWEB参加7名）に達しているので理事会が成立する旨を報告し、開会を宣言する。

なお、会場に来ることが出来ない理事はZOOM（WEB会議）システムを用いて、事務局と自宅または勤務先を繋ぎ、遠隔会議を行った。

ZOOM（WEB会議）システムにより、出席者の音声が即時に他の出席者に伝わり、出席者が一堂に会するのと同様に適時的確な意見表明が互いにできる状態となっている。

議 長

定款第30条第1項に基づき新井会長がこれにあたる。

書記の選出

議長により、本理事会の書記に、フリーランス・栄養関連企業等部の青島理事と栗原理事が指名された。



1. 会長あいさつ

石川県能登地域の被災者の皆様に、心よりお見舞い申し上げます。1月の地震および9月の大雨災害と度重なる天災に見舞われました。我々は無力で何もできず、それでもなお、前を向いて歩んでいかなければなりません。我々は何を学び、何を心に刻んだのでしょうか？思い起こせば、平成28年に生じた熊本地震・大雨に伴う水害と同じく、1年に二度の天災が生じたことを記憶しています。様々なことを想像して、対応しなければならないと気づいていたはずですが、地球の声（悲鳴）に抗うことができず、歯痒い気持ちでいっぱいです。

9月に実施した静栄DAT研修会の交流会にて、「本研修会への参加はリーダーとして派遣される（現地に行かれる）方のみが参加するものと認識していました」と参加者の何人かが発言していたことを受け、気づかされました。栄養ケアプロセス同様、すべての管理栄養士、栄養士が防災に関する共通の言葉を学び、スキルを身に付けて、そして実践に活かせる力を養わなければならないことを。スタッフの登録数を増やすことが目的ではありません。非常時に、どれだけの会員が同じ思いで動き、現地に行けなくても、想像して支援できるかが鍵です。南海トラフの対応だけでなく、今一度、防災に対して、管理栄養士、栄養士が何をすべきか、見つめ直す必要があるように感じますので、理事一同、同じ気持ちを持って、行動、対応をお願いしたいと思います。

2. 前回議事録の確認

- ・2024年度第4回理事会議事録

全会一致で承認された。

3. 代表理事の業務報告

（一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第91条第2項）

3.1. 新井会長

8月3日（土）	県民栄養フォーラム	あざれあ
8月6日（火）	静栄DAT運営委員会	WEB
8月10日（土）	東海北陸会長等会議	名古屋ガーデンパレス
8月11日（日）	東海北陸会長等会議	名古屋ガーデンパレス
8月24日（土）	静栄DAT研修会	サンウェル沼津
8月27日（火）	日本公衆衛生学会実行委員会	WEB
9月20日（金）	介護予防委託事業研修会	浜松Uホール

9月25日（水）	学術部 県民フォーラム委員会	WEB
10月2日（水）	三役会議	WEB
10月4日（金）	シズケアサポート会議	静岡県医師会館

3.2. 久保田副会長

7月29日（月）	令和6年度災害時応急対策協定締結業者研修会	あざれあ
7月31日（水）	第1回静岡市食育推進会議	静岡市役所
8月3日（土）	県民栄養フォーラム	あざれあ
8月6日（火）	県介護予防ケアマネジメント新任者研修	レイアップ
8月6日（火）	静栄DAT委員会	WEB
8月10日（土）	東海北陸会長等会議	名古屋ガーデンパレス
8月11日（日）	東海北陸会長等会議	名古屋ガーデンパレス
8月22日（木）	循環器病に関する県民向け講演会打合せ	WEB
8月24日（土）	静栄DATスタッフ育成研修会	サンウェル沼津
8月25日（日）	栄養ケア・ステーション在宅訪問委員会	あざれあ
8月30日（金）	広報委員会	WEB
9月8日（日）	在宅訪問栄養指導に必要なスキルアップ研修	あざれあ
9月12日（木）	広域連合研修会	ニッセイ静岡ビル
9月20日（金）	管理栄養士向け介護予防推進指導者育成研修	浜松Uホール
9月23日（月）	総務部総会担当会議	静栄事務局
9月24日（火）	摂食嚥下（在宅）中部地区研修会	WEB
10月2日（水）	三役会議	WEB
10月4日（金）	食べるから繋がる担当者会議	あざれあ
10月5日（土）	JDA-DAT第14回リーダー育成研修	石川県金沢市
10月6日（日）	JDA-DAT第14回リーダー育成研修	石川県金沢市

3.3. 若林副会長

7月31日(水)	親子地産地消ツアー	JAふじ伊豆う宮～な
8月1日(木)	親子地産地消ツアー	JAふじ伊豆う宮～な
8月3日(土)	県民栄養フォーラム	あざれあ大ホール
8月7日(火)	静栄DAT委員会	Web
8月10日(土)	東海北陸会長会議	名古屋
8月11日(日)	東海北陸会長会議	名古屋
8月24日(日)	静栄DAT研修会	サンウェル沼津
9月5日(木)	地域包括ケア推進ネットワーク会議	静岡県医師会館4階講堂
9月8日(日)	在宅訪問栄養指導に必要なスキルアップ研修	あざれあ生活関連室
9月10日(火)	富士・富士宮地区打合せ会	富士市フィランセ
9月13日(金)	富士宮市委託事業打ち合わせ	富士宮市総合福祉会館
9月24日(火)	富士宮市委託事業レシピ試作	富士宮市総合福祉会館
10月2日(水)	三役会議	Web
10月4日(金)	食べるから繋がる担当者連絡会議	あざれあ

4. 報告事項

4.1. 医療事業部（太田理事）

7月27日(土) 医療施設と福祉施設における同職種間連携推進セミナー

参加者：太田、菊地、中村、八木、渡邊美子（理事）、石川（運営委員）

8月24日(土) 病院・医療関連職域管理栄養士・栄養士育成のための地区リーダー情報交換会

参加者：太田、八木、渡邊美子（東海北陸ブロック主幹事）

統一議題：1) 医療職域ビジョンの改定
2) 診療報酬改定要望
3) 専門管理栄養士取得者増への取り組み
4) 会員増対策

その他：今期よりリーダー研修会から改名

日栄の事業から外れたことで県代表者、幹事への日当は出ず。
県栄へ日当申請。次年度予算立ての際に留意する。

4.2. 研究教育事業部（篠原理事）

Web学び直し講座第3期 募集締め切りを9月20日から10月24日に延長。

これに伴い、視聴期間は11月1日～2025年1月10日に変更しました。

食品衛生（常葉浜松 杉山先生）、乳幼児の栄養（常葉浜松 三浦先生）より講座辞退の希望があり、循環器疾患（日大 篠原理事）、腎疾患（裾野日赤 菅沼運営委員）を追加し、これまでと同じ11講座で実施する。

10/4現在までの新規受講者の申し込み数 10件。

4.3. 公衆衛生事業部(平塚理事)

10月19日（土）東海北陸ブロックVCS会議 zoom

4.4. 福祉事業部（田森理事）

8月4日（日）	福祉職域管理栄養士全国リーダー研修会 田森参加	zoom
8月18日（日）	栄養ケアマネジメント研修会① 参加5名	zoom
9月15日（日）	栄養ケアマネジメント研修会② 参加4名	zoom

4.5. フリーランス・栄養関連企業等事業部(池谷理事)

在宅訪問栄養指導に必要なスキルアップ研修会

9月8日（土）あざれあ 生活関連実習室

「嚥下調整食学会分類に基づいた講義と調理実習」

参加人数 21人

4.6. 総務部（森下理事）

9月23日（祝日）AM 2025年度定時総会打合せ 場所：事務局

■特別講演テーマの選択肢

各職域からたくさんのテーマ案をいただいた中から3点に絞り、理事会で協議にかける。

・能登災害支援について ・食事摂取基準2025 ・サプリメントについて

講師について

・能登災害支援について →杉山理事が石川県栄養士会の方とコンタクトあり

・食事摂取基準2025 →新井会長に講師について打診可能

・サプリメントについて →久保田副会長から臨床栄養協会に講師について確認可能

→(山崎理事)先日食品衛生協会の基調講演を聴講。高原学氏(食品産業技術総合研究機構企画戦略本部新技術政策課)は、ゲノム編集・遺伝子組み換え・品種改良などの話をされていた。未来の食事について正しい知識を得ていくために栄養士も興味のある講演だった。ゲノム編集の講演については来年の候補としておく。参考のために講演料等詳細について山崎理事に確認をお願いした。

■総会参加集客について

- ・会場参加者にはくじ引き等でプレゼントを用意する(賛助会員の協力が必要)
- ・交流会を設ける→座席を指定して着席していただく(例えば東・中・西部など)
- ・災害について東海地区は常に不安を抱えている。毎年または隔年でDATチームに協力をいただき10~20分程度で災害についての情報収集の場にできないか。
- ・表彰者は原則総会にお越しいただくよう促す。
- ・総会に参加しないと受け取れない情報やパンフレットなど検討。

■表彰規程について(総務部顕彰委員)

- ・2025年度には規定の検討、調整をおこないたい。

問題点 静岡県栄養士会の表彰の年齢→日栄より遅い

日本栄養士会の表彰の年齢→逆転しているのでどうしていくか？

→総務部ではなく、決定は三役でおこなう。

※ 表彰者は原則総会にお越しいただくよう促していくようにして、総会参加者を増やす。

■Web配信(ハイブリット)

- ・機材について 大まかには揃っている。配信機材についてはOK。
→細かい部材(ケーブル等)補充リストは事務局へ送付済み。予算があれば購入したほうが良い
- ・おおまかに見積もって業者に配信等を依頼すると1日20万円程度経費がかかる。

※ 現在、山崎理事に担当していただいているが今後のためは他にも行える人を準備していく必要があるのではないか。毎年理事の中から選出するには任期があるため難しいのではないかと。会員の中から何名かにお願いしていくかが今後の検討課題である。

4.7. 研修部(八木理事)

- ・7/21(日) 「eiyou寺子屋②高齢編」 福祉事業部運営委員会 WEB 参加：3名
- ・7/28(日) 会場：磐田市民文化会館 「かたりあ」創造活動室1
「防災」研修会 災害時の栄養・食生活支援～熱海土石流災害と能登半島地震での経験を踏まえて
講師：浜松医科大学医学部附属病院栄養部 渡邊 潤 氏 参加：16名
- ・8/3(土) 会場：あざれあ 大ホール
「県民栄養フォーラム」
講師：エームサービス(株)公認スポーツ栄養士・管理栄養士 勝又 瞳 氏 参加：211名
- ・8/18(日) 「栄養ケアマネジメント研修会①」 福祉事業部運営委員会 WEB 参加：5名
- ・8/24(土) 会場：サンウェル沼津

「静栄DATスタッフ育成研修会」

講師：静栄DATリーダー 参加：33名

4.8. 学術（県民フォーラム）（青島理事）

8月3日 あざれあ大ホールにて実施 参加者数211名（栄養士71名 一般140名）

東部地区57名 中部地区89名 西部地区31名

栄養士管理栄養士72名（内会員49名）

事後アンケート結果は概ね良好であった。（共有フォルダー内にて確認可能。）

予算合計500,000円 実績391,461円

4.9. 広報部（渡邊潤理事）

8月30日（金）19:00～21:00 第1回広報委員会 WEB 出席者：7名

- ・2024年度広報担当事業について
- ・2024年度第1回レシピコンテスト応募メニューについて
（他県、学生からの応募含め8メニューをホームページに掲載することとした）
- ・Instagram記事作成当番と投稿担当及びメルマガ等月担当者について
- ・ホームページの各職域ページ更新について
（定期的な内容確認と各事業部長への更新依頼が必用）

4.10. 地区事業部（稲葉理事）

1) 地区事業部委員会のWEB開催 9月6日19:00～ 別紙議事録参照

10月6日の理事会にむけて、若林副会長 運営委員で地区事業部の役割について課題も含め再確認
および今年度のスケジュールについて確認をする。

2) R6健康づくり啓発事業

しずおか元気応援フェア（しずおかアクティ部）開催なし、メディメッセージへの参加に振替える。

3) 各地区での令和6年度事業実施状況について 別紙資料参照

4) 地区代表者会議について

地区事業部に課せられた役割について

- ・「顔の見える関係づくり」が主な目的。会員の結びつきを強くする。会員増につなげる。
地域での栄養士活動のPRもできるとよい。
- ・交流を主軸とするが、目的の達成につながるものであれば内容は問わない交流会、研修会、
見学、イベント参加など。（もちろん三役に確認のもとでの内容）。

- ・以上のことをもう一度、地区事業を担う代表者、運営委員へ伝えるZoom会議をさせてほしい
(10/7～10/19ころ)

※上記の開催にあたり、R6は2回開催の予算となっているが、「方向性の共有」と「予算申請前」にそれぞれ1回（Zoom）、年度初めに1回、計3回開催したいわけ。R6は予算の範囲内で行う。各代表者の旅費を確認し、足りなければ「方向性の共有」の会議は無償となるので、参加いただける方のみとする。

5) 地区事業部の研修会・交流会・イベントについて検討事項報告

- ・非会員を含めた交流会について
好評だが、（保育所関係など）すぐに会員になるメリットが感じられなかった人は、入会につながらない。交流会参加後に会員になってもらえるような仕組みが必要か。
- ・田方地区や清庵地区の、会員はいるが役員のなり手不足について
清庵は毎年研修会を行っているが参加者が少ない。しかし、合併は慎重に考えたい。
地区における周知の方法、研修参加者や会員を増やす取組等確認し、必要であれば他地区や理事で周知等フォローする方がよい。
- ・会議で各地区の活動の好事例を報告してもらい、全員が共有できるとよい。
東部、中部、西部全体で共有をしていく。

6) その他 三役の意見を伺いたい案件 地区事業部でイベントの日当について

イベントの日当1,100円は少なく、参加を頼みづらい。（当初は奉仕活動的であったが、時代にそぐわない）健康栄養知識普及事業と同じ5,000円にするか、別の形で参加するのはどうか？今のままではイベントへの参加者が増えない、対社会的にも認知度を上げることにつながるのか不安。イベントは地区事業部の活動として極力参加しないという姿勢でも良いのか？
行政から依頼された健康栄養知識普及事業は1回2人となっているが、その他の地区イベントだと参加者が多くなるため、予算確保できない可能性もある。今後の栄養士の社会認知度をあげるための活動と行政から依頼される内容のものとの線引きが難しい。ボランティアにはならないようにしたい。現時点での最善解を伺いたい。

4.11. 栄養ケア・ステーション部(杉山智理事)

①職業紹介事業

- ・4月以降の新規求人 15件、新規求職者 6名、紹介件数 2件、採用者 2名
- ・職業紹介事業所責任者の希望者なし⇒前理事会の決定に従い、三役にて年度内に後任決定する
- ・職業紹介事業所更新に伴う有料職業紹介事業講習 受講予定 事務局鈴木

10月30日（水）13:30～ 静岡地方合同庁舎

②栄養ケア・ステーション事業

- ・8月25日 第2回訪問栄養食事指導運営委員会 開催
訪問栄養食事指導業務に必要な書類の確認、様式作成検討（次回10月20日）
- ・栄養ケア・ステーション業務依頼件数 153件（2024年4月～）

- ・栄養ケア・ステーション登録者数 136人（138名から2名退会）
- ・認定栄養ケア・ステーション新規事業所：認定栄養ケア・ステーションあさい歯科クリニック
県内17事業所（東部5事業所、中部7事業所、西部5事業所）
- ・認定栄養ケア・ステーション2024年度第2期申請受付開始（10月末日まで）

4.12. 静栄DAT（中村理事）

- ・8月24日（土） 静栄DATスタッフ育成研修会反省会
- ・9月1日（日） 伊東市防災訓練 台風により中止
→11月2日（土）に伊東市と訓練実施に向け調整中
- ・10月5日・6日 JDA-DAT第14回リーダー育成研修に6名参加
- ・10月16日（水）静岡県健康増進課・健康福祉部からの要請で保健医療福祉調整会議出席

4.13. 受託事業

委託事業打合せ 9/18日 池谷・栗原・白石・青島・杉山 ZOOM 20:00～22:45

4.13.1. 食品表示適正化・活用普及事業 担当（山崎・池谷）

開催時間 10:30-15:00

8月2日（金） 静岡会場 会場29名 WEB 98名

10月2日（水） 沼津会場 会場32名 WEB 78名（9/18日現在）

*栄養士会会員の参加可。まだ間に合うため参加者募集中。

4.13.2. 元気を見つめる外食活用推進事業

「高校生対象「健康な食事」について考える講座」参加人数 27名

4.13.3. 飲食店向け「健康な食事」事業

県内2か所 旅館組合に依頼

9月13日 掛川商工会議所 参加人数 15名

1月22日 浜松市内ホテル

4.13.4. 食べるから繋がる地域包括ケア推進事業

担当者連絡会

10月4日（金）あざれあ 特別会議室 14:00～16:00予定

内容： 栄養ケア・ステーション啓発リーフレットの紹介 等

県主催の研修会での講演 栄養ケア・ステーションの周知

8月6日 ケアマネ新任者研修会 久保田副会長

9月12日 広域連合 久保田副会長

10月22日 情報交換会 栗原理事

10月18日 介護予防事業従事者研修（県庁で録画）久保田副会長

関係団体への周知啓発

8月22日（木）中央区なか支援ネットワーク 管理栄養士・介護支援員等35名

10月 5日（土）口腔ケア・ネットワーク

4.13.5. 管理栄養士向け介護予防推進指導者育成事業

研修事業

9月20日 浜松会場

講師 愛知淑徳大学健康医療科学部 教授 櫻 裕美 先生

事例発表 会員 上田規江 氏

参加者 33名

10月26日 静岡会場

講師 駒沢女子大学健康栄養学 教授 工藤美香先生

病院から退院後の個別支援や地域包括ケアシステムや介護保険制度など

事例発表 同大学 健康栄養相談室（栄養ケア・ステーション）藤田里栄子 氏

申し込み締め切り 10月10日

会員に参加の周知をお願いします。

管理栄養士が市町等の通いの場で活動する取組の支援

通いの場依頼数（9/24日現在） 沼津6件 富士18件 函南 2件

通いの場の資料作成予定

4.13.6. しずおか健幸惣菜パートナー運営事務局業務

8月27日契約 契約満了 3月15日

昨年度からの変更点

①Instagramについて...昨年度は掲載依頼が2件しかなかったが、今年度は依頼がない場合は、月に2回は、Instagram用の原稿を作成する必要がある。内容は健幸総菜のメニュー。

②パートナーに渡す認定証を作成

③昨年度同様健幸惣菜募集チラシに加え、一般県民への健幸惣菜周知チラシ配布

④2種類のポスターを作成し、データで提出する。今年度はパートナーにデータを配信するまで行う。

4.13.7. 富士宮市食文化推進プロジェクト

富士宮市委託事業

スイーツで楽しむ地産地消講座

10月23日(水) 10時～12時 富士宮市総合福祉会館

9月13日 スイーツで楽しむ地産地消講座担当者第1回打ち合わせ

9月24日 第2回打ち合わせスイーツレシピ原稿作成と試作

10月11日 第3回打ち合わせスイーツレシピ原稿作成と試作 写真撮り

10月22日 講座前日 当日 参加者市民20名 試食分作成

4.14. その他

4.14.1. 知事功労別表彰（保健衛生功労）栄養指導業務功労者の推薦取消について

7月に湯山純子会員を推薦したが、栄養士会長表彰受賞歴がないため、推薦条件に当てはまらなかったことがわかり、栄養士会として推薦取り下げを行った。（ただし、日本栄養士会会長表彰は県知事表彰に代えて大臣表彰の推薦条件とすることができる。）

4.14.2. 公衆衛生事業功労者に対する厚生労働大臣表彰の推薦について

8月に静岡県職員の江間章子会員と井上三千代会員を推薦した。

4.14.3. 令和6年度栄養関係功労者厚生労働大臣の決定について

池田あずさ会員の表彰が決定。10月13日全国栄養改善大会(東京)で表彰される。

4.14.4. 日本栄養士会会長表彰の辞退者について

推薦した全員が受賞決定したが、50年会長表彰の西山朋子会員が辞退された。

5. 協議事項

5.1. 2025年度 事業計画・予算編成について（若林事業部長、久保田総務部長）

5.1.1. 事業計画について（若林事業部長）

事業計画申請締切：11月20日（水）までに事務局長、三役にCCでメール提出

※ 各事業部研修会・県民栄養フォーラム・DAT・栄養士大会等の事業計画については、予算申請書の書類に具体的な内容と日時・講師名・会場を記載。

※ 地区事業部も研修会・交流会については具体的な内容にて日時・講師名を記載。

会員増のためにも交流会は開催していく方向。今まで研修会・交流会だけであったが、交流会を進めることから生涯教育の単位がない勉強会や交流会も申請の対象としたい。イベントについては、栄養士会としてその地域の中で参加をし、栄養士会のPRを進める

地区研修会に関しても他の研修会と同様に申請書を提出してもらいたい。

イベント、研修会、交流会と地区ごとに取り組みが異なっているため、計画をはやめて目的や内容をしっかり記載して欲しい。書式は例年同様、会場費、旅費、講師料に加え、開催時期・開催地域の目安と講師の目安も必ず記載する。

→11月20日までに事務局長および三役にメールにて提出することを承認

5.1.2 予算の申請について（久保田総務部長）

予算申請締切：11月20日（水）までに事務局長、三役にCCでメール提出

※ 表題：事業計画・予算申請（事業部、委員会等）※ 委託事業は除く

※ 地区事業部は11月17日（日）〆切、まとめ提出は20日（水）目途に

メール文面：①予算変更の有無（有・無）②事業計画の説明（主に新規、増額、変更点を簡潔に、目的と内容も記載）12月3日（火）までに必要に応じて確認メールでヒアリング実施。

・10月より郵便料金、バス運賃など値上げによる支出増が見込まれる。次年度予算は今期の執行状況を踏まえ、提出された事業計画全体で調整を行っていく。魅力ある事業の企画をお願いしたい。

お金が無いので減額、を推進している訳でなく、委員会やワーキング会議等、必要な費用は掛けたいと思っている。どう工夫するかを考えていただきたい。調整は対面で行いたいところだが、先にヒアリングを行いたい。

Q:理事会前のヒアリングとはどのようなものか

A:各事業部からの計画を確認し、三役と各事業部長の間で行う。全部の収支を確認し、超えていたならば調整を掛けなければならない。増額事業を含めてやり取りさせていただきたい。

計画は希望を出してもらってよい。11月20日から12月の理事会までの間に調整したものを、理事会で提案するので議論いただきたい。1月で予算承認、3月事業計画承認。

Q:会員増対策を行う必要があると思うが、事業部ごとに行うとお金がかかるのでどうしたらよいのか

A:日栄も、各職域事業部と、もうひとつ地域連携事業部に会員増対策を求めている。正直なところ、職域の名簿が自由に使えない、かつ職域別の研修会を開催していない、アナウンスもできないという手詰まりの状況。どう改善するか議論が必要。去年福祉事業部が行った会員増対策が功を奏していれば対策すべきだが、郵送費増額がネック。

非会員を見つけてくるのが一番重要であり、過去の退会者についてはなぜやめたのか把握し対策を考えることが必要。入会を勧めるだけでは振り向いてもらえない。交流会のその先、会員になってくれているか、そこが重要。事業ではないが対策は必要なので、忌憚のない意見をいただきたい。

➡11月20日までに事務局長および三役にメールにて提出することで承認された

5.2. 学校健康教育事業部（小栗理事）

事業部の会員への連絡メールについて（次回の封書発送時に文書を同封してほしい）

来年度の東海ブロック会議で「全県で個別的な相談指導の研修等」の開催を指示される場合があるという事だが、今のところ無し。来年度も研修の計画はしない。

会員名簿がなく会員へ連絡することができない。事業部の会員と連絡をとれるようになりたい。

学校栄養士協議会は、学校や教育委員会のバックアップもあり活動が平日に実施されるため参加しやすく参加率もかなり高い。それに比べ、栄養士会はプライベートな時間の活動になるため、会員数が少ない。会員増のためにも学校教育に関する情報を発信していきたいと考えている。

➡理事会としては承認する。

参考：郵送作業は年3回。事業部ごとの対応は手間がかかる作業であることは理解してもらいたい。（12月の発送は、会費の支払いに関する発送業務が煩雑なため事業部ごとの対応は避けて欲しい）会員同士が繋がっていくことが大切である。学校関係の栄養士だけでなく他分野の栄養士ともつながっていけるようにしていけるとよい。

Q: 学校栄養士協議会と日本栄養士会の関係はどのようになっているのか

A: 学校栄養士協議会も大きな団体であるため、それぞれが動いている。

日本栄養士会としては何か動いているのかもしれないが、どのような関係であるのかは不明。

5.3. 総務部（森下理事）

2025年度定時総会特別講演テーマについて

各職域からたくさんのテーマ案をいただいた中から総務部が3点に絞りました。理事会で皆様の意見を伺いたい。

・能登災害支援について...11名 ・食事摂取基準2025...5名 ・サプリメントについて...6名

➡多数決で最大票であった能登災害支援についてのテーマで決定し、石川県の関係者の講演に向けて準備をすすめることで承認された

5.4. 学術部（大塚理事）

栄養士大会演題申し込みについて 9月24日時点で2件なので最低各事業部から1演題は申し込んで欲しい。声掛けをお願いしたい。（締切日 10月25日）

次年度（第11回）開催予定日 2026年2月7日(土) または14日(土) どちらが良いか。

➡2026年2月7日(土)で決定

5.5. 学術（県民フォーラム）（青島理事）

次年度についての開催(案)

開催予定日 8月2日(土)または3日(日) （栄養の日、栄養週間の普及を兼ねる）

内 容 スポーツ栄養の分野 + 栄養士の広報

場 所 浜松市内

会場の情報提供をお願いしたい。300人程度のホール状(階段状)を希望

県民に栄養の知識を普及することと栄養士を知ってもらうことを広報していきたい。

スポーツをテーマで連続して開催をすることはおかしいのではないかと？浜松開催では東部の理事は交通費もかかるので中部でやるべきではないか。もっと栄養士を知ってもらうためにはもっと考えるべき。

➡反対意見により取り下げとする。

各理事が検討し意見を提出する。（テーマ、講師、場所、集客予定人数、案内先）

開催日程については提案通りで予定したい。

5.6. 広報部（渡邊潤理事）

レシピコンテストの募集要項について

2024年度第1回コンテストにおいて他県及び学生からの応募があった。

今後、他県や学生からの応募を受け付けるべきか。

➡ 今後は県内の管理栄養士・栄養士(会員にこだわらない)に限るということで承認された。

5.7. 地区事業部(稲葉理事)

1) 代表者会議について

令和6年度は、地区代表者会議は2回分（1回対面、1回Zoom）となっているが、次年度地区研修会の「方向性の共有」の為、理事会後で予算提出前と「予算申請時」にそれぞれ1回開催したい。予定よりオンラインでの会議を1回多く3回としたい。

地区事業部として顔の見える活動をしていきたい。地区事業部を変えていくためにも会議が必要と考える。

会員増のために地区事業部の活動が位置付けられていると考える。2回の会議では内容をよく話し合うことが出来ずに「例年通り」という申請になってしまう。地区事業部を変えていくためにも、目的がある研修会や交流会などを企画していくためにも、会議が必要である。会議を実施する時期についても要検討。

➡ Web開催分相当の予算が余っていることもあり、会議の開催を承認する。

その他各職域事業部の運営委員会、専門事業部の運営委員会についても検討をしていく。

2) 地区研修会について

来年度からのブロック研修会と地区研修会の両方を担当している地区は、どちらかを選択してもよいことにしてはどうか。（負担が大きくなるようにする。）

現状でもどちらでも構わない。

ブロック研修会を各地区の持ち回りにしているのは、ブロック研修会は予算が大きいため、担当地区が予算を使った研修会を開きたい場合、ブロック研修会担当時に計画をできるように考えている。

当番地区がブロック研修会に力を入れるために地区研修会を実施しないことは可能。また、各地区の同意が得られた場合はブロック研修会を実施しないことも問題はない。無理に両方を実施する必要はない。

研修会という名称にすると非会員4,000円、生涯教育単位などが発生してしまうため、誰でも無料で参加できる名称（公開講座や交流会等）も考えていく。

➡ 現状でも目的をもって開催をすれば、どちらを選択してもよい。承認。

3) 地区事業部でイベントの日当について

イベントの日当1,100円は少なく、参加を頼みづらい。（当初は奉仕活動的であったが、時代にそぐわない）健康栄養知識普及事業と同じ5,000円にするか、別の形で参加するのはどうか？

今のままではイベントへの参加者が増えない、対社会的にも認知度を上げることにつながるのか不安。イベントは地区事業部の活動として極力参加しないという姿勢でも良いのか？

行政から依頼された健康知識普及事業は1回2人となっているが、その他の地区イベントだと参加者が多くなるため、予算確保できない可能性もある。今後の栄養士の社会認知度をあげるための活動と行政から依頼される内容のものとの線引きが難しい。ボランティアにはならないようにしたい。現時点での最善解を伺いたい。

地区は、交流会で非会員に入会をすすめることもできる。地区も目的のある研修会を実施して欲しい。生涯教育単位とは関係なく事業計画をしてもらいたい。

イベントがある地区は出してほしいが、ない地区は無理に出さなくて良い。目的のないイベントを実施する必要はないことを再度（代表者会議で）確認する。

★計画をしないと予算はつかない。

★地区の合併という意見もあるが、各地区の都合もあり難しい。（清庵地区は現状維持を希望）

ボランティアのような事業は不要ではないか。健康栄養知識普及事業の謝金5,000円をもっと使っていけばよい。日当1,100円を時給と勘違いをしていた会員がいた。

地区の研修会について

予算が不足していることもあり内容を検討したい。

集客人数の減少、講師料10,000円の予算では難しいと代表者会議で言われている。講師料の金額を見直すべきなのか。静栄の現状は、県内の栄養士・管理栄養士の講師料10,000円 医師・大学教授30,000円。他県では講師料が30,000円や50,000円のところもあるが、これについてどう思うか。

総会などは別として、講師料を上げて集客は改善しないと考える。研修会の有無も気が付いていない若い栄養士もいるのが現状。

身近な人に講師となってもらい、業務での困ったことを解決できるような研修会を開催するのも良いのではないかな。

理事なども講師ができると考えている。

参加費をとればよいのではないかな。興味があれば有料でも参加者は集まる。

研修会が求められていないのではないかな。学びがオンライン研修会や動画・配信になってきている。静栄でもWEB学び直し講座を作り、配信している。（WEB学び直し講座の申し込み数 1期130 2期77 3期10）

研修会の周知はどのような方法が考えられるのか。インセンティブのある広報、公式LINE（経費がかかる）、その他SNS、メルマガ（登録数900名）など今後も検討が必要。

地区事業部から保育施設の栄養士に関する意見の共有

保育関係の研修会が少ない、土曜日勤務が多いなどの理由から研修会に参加しにくい。

全体の人数が少なく、対応はできていないが、寄り添いフォローをしていくことは可能ではないかな。

保育園の事業主向きに栄養士会を宣伝していくこともできるのではないかな。

6. 承認事項

6.1. 新入会員の承認について（久保田総務部長）

新入会（再入会を含む） 12名 会員数1,362名（内未納72名）

年度末に1,300名を切る可能性がある。会費も約72万円の減額となる。この金額は大きい。

事務局員の経費を増やしたいが難しいのが現状。

退会者が増えることを止めたい。

どのようにして会員を増やし、退会者を減らしていくか。

- ・若手の退会を見ると、若手にとって魅力がないのではないかな。

- ・退職と同時に退会をしている。（退職後も地域で活躍をして欲しいが伝わらない）

より多くの栄養士に会員となってもらえる栄養士会になるよう考えてもらいたい。会員数の減少を覚悟をもって止めなければいけない。若い方に入会をしてもらえるようにしていきたい。（例えば、産休、育児などの時期の対応などの検討も今後必要と考える）

⇒12名の入会を承認した

6.2. 在宅介護者の食生活支援研修会開催について

日時：1/19（日）

会場：沼津市第3地区センター

内容：在宅介護者の食生活支援研修会 講話・試食

対象：在宅介護を行っている方・関連職種など

⇒承認。

6.3. 事務局員の時給変更について

静岡県が最低賃金が増額（50円上昇）されたため、最低賃金を下回るパートタイムのみ、10月分から時給の変更を承認していただきたい。

昨年、一昨年の時給変更も、発効年月日に勤務した分の賃金から、最低賃金を下回る賃金は強制的に最低賃金に引き上げられるため、10月締め分の時給から変更している。

⇒承認された。

6.4. 栄養ケア・ステーション部

障害福祉サービス事業所における食事提供体制加算の献立確認業務について

【食事提供体制加算】の加算要件に「栄養ケア・ステーションもしくは保健所の管理栄養士又は栄養士が栄養面について確認した献立であること」が追加された件

静岡県健康増進課と対応調整中で下記のような状況

- ・ 栄養ケア・ステーションにて有料で対応
- ・ 保健所へ問合せがあった場合は栄養ケア・ステーションへの依頼を案内する
- ・ 依頼が殺到し栄養ケア・ステーションの人材が不足した場合は事業者に待っていただき順番に対応する

保健所では無料での対応となるが、栄養士が忙しくて対応が難しい。

栄養ケア・ステーションでは有料。依頼内容の仕事量も様々になると考えられる。

Q：個人の栄養士が対応をしてもよいのか

A：施設が法人内の栄養士、個人で施設と契約を交わす場合は可能。認定栄養ケア・ステーションではなく、都道府県栄養士会の栄養ケア・ステーションが許された。保健所もしくは給食の委託先栄養士が実施をすることも可能。

栄養ケア・ステーション部としては、依頼があったら引き受ける。

→上記の通り承認された。

6.5. 研修部

- ・ 2024年度研修会予定一覧表

→一覧表を確認しておく。承認された。

7. 連絡事項

7.1. 会員への通知発送について

12月中旬に次年度会費請求のための発送を予定。

7.2. 女性に対する暴力をなくす運動について

栄養士会では毎年11月に「女性に対する暴力をなくす運動」に協力している。

三役に相談し、今年は栄養士会事務局と三役でパープルリボン運動を行い、昨年と同様、その活動をInstagramで告知する予定（記事作成は事務局）で、広報部に協力を依頼している。

8. 確認事項

8.1. 行事日程の確認について

8.2. その他

8.2.1. 認知症に関する出前講座について

出前講座の開催依頼があった。12月8日第6回理事会の前に実施予定。12:15から30分程度を予定している。

8.2.2. 公益法人のありかた

公益法人として外部の監事をおかなければならない。現在監事は4年任期で会員から2名が選任されている。次回の改選時に外部の監事1名を雇用することになる。過去に静岡銀行の行員の監事がいたこともある。日栄は弁護士と会計に特化した人が監事を依頼されており報酬も支払われている。

猶予期間があるのでその間に整備をしていきたい。公益法人のことがわかる監事を決めていかなければならない。会の運営を外部の人からみてもらう必要がある。

外部理事も必要であることが明記されているが、静栄は小規模であるためそこまで求められることはないのではないかと考えているが、今後検討していく必要はある。

外部監事についての理想は、公益法人のことを理解している人、例えば、県の公益法人に関する業務などを担当したことがある人などが良いのではないかと。

外部監事、外部理事を入れるにあたり、外部の理事に報酬が必要となると定款変更が必要となる。（定款には理事は無報酬とすると書かれている）

8.2.3. 一人一品運動協力隊について

本日のZOOM（WEB会議）システムを用いた理事会は、終始異状なく議題の審議が終了した。

以 上

出席理事

新井 英一
久保田 美保子（WEB）
若林 恭子
小栗 美樹子
大塚 美和子
平塚 歩実
稲葉 由美
篠原 啓子
小川 ももこ（WEB）
池谷 広美
森下 知代（WEB）
白石 明子
青島 千恵
栗原 理江
山崎 靖晃
杉山 清子（WEB）
太田 紘之（WEB）
渡邊 美子
渡邊 潤（WEB）
中村 朱美（WEB）
田森 稔浩
杉山 智子
松井 温子

出席監事

水嶋 美穂子

議事録作成者

青島 千恵

議事録作成者

栗原 理江

この議事録が正確である事を証するために、会長及び副会長並びに監事は記名捺印する。

2024年10月6日

公益社団法人 静岡県栄養士会

会長

新井 英一



副会長

久保田 美保子



副会長

若林 恭子



監事

水嶋 美穂子

